



日本共産党
清水 雅人
議員

高齢者向けサービス付き公営住宅について

質問 安全安心な「高齢者向けサービス付き公営住宅」の特徴は。

答弁 ①居住者の見守りや生活相談を行う、②風呂、食堂等を共用化することにより家賃の軽減化を図る、③自己負担となる食事サービス提供や介護事業サービス等の導入を検討するなどです。

特養・軽費・養護老人ホームの大幅定員増への考えについて

質問 民間のサービス付き高齢者向け住宅は、人気が高いが低所得者は利用できない。特養・軽費・養護老人ホームの大幅定員増は急務ではないか。

答弁 老人ホーム以外にも多様な選択肢がありますが、第6期介護保険事業計画においては、介護保険料への影響を見きわめながら特養増床の可能性を探っていきたいと考えています。

まち自慢のパークゴルフ場について

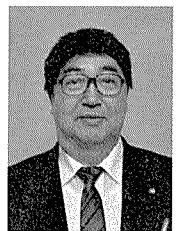
質問 いきなり実施設計を始めるという進め方は、本来の進め方から逸脱しているのではないか。必要なことは、市民と一体となり、ガラス張りで作っていく進め方であり、それが前田市長の言われる刷新ではないか。

答弁 基本計画も策定せず、拙速すぎるとの指摘ですが、最小限の投資で最大限の効果を生む手法を念頭に置き検討を進め、新年度に随時検討経過を報告いたします。

ごみ処理手数料の見直しについて

質問 トレー、その他プラスチック、雑紙のリサイクル推進で有料のごみ重量を減らすべき。市民生活が厳しい中で、負担増は絶対にすべきではない。

答弁 プラスチックは引き続き可燃ごみとしたいが、雑紙については平成26年度に向けて資源ごみとして対応できるか検討しています。適正な市民負担、ごみ処理手数料の見直しを検討していきます。



市民の声連合
渡辺 精郎
議員

「TPPに参加すべきでない」と滝川市が明確にすべき

質問 市政執行方針にTPPが懸念材料だと述べているが、道の高橋知事も反対を表明している。滝川市も明確に反対を表明すべき。

答弁 参加すべきでないということとを声を大にして申し上げたい。

企業誘致で滝川市進出のメリットがわかる資料づくりについて

質問 企業誘致では、税金や土地条件等の滝川市に進出する場合のメリットがわかる資料を作り、他の市町に負けないようにすべき。

答弁 企業のニーズが様々ある中で、本市における事業性が確保されるのが重要です。企業の要請に柔軟に応じていきます。

雪害対策と除排雪の重要な方針について

質問 豪雪で住宅街の市道は、細く曲がりくねっただけの道のように

である。市民最大の願いである除排雪問題について伺う。

答弁 限られた予算と機械力の中で効率的作業方法を考慮して市民生活に支障のないよう、重要課題として冬季道路確保に努めます。

給食食材の放射能検査の限界について

質問 給食食材の放射能検査が道教委に依頼して実施されているが、セシウムしか測定していないのか。

答弁 セシウムは検査期間が短く、他の放射性物質の含有推定も可能なので、この物質を検査しています。放射性物質検査はこれで十分信頼でき、迅速な対応ができていると考えます。

『いじめ防止条例』について

質問 早期に検討・制定ではなかったのか。道教委も制定方針を決定。いじめで自殺した児童の鎮魂のためにも制定すべき。

答弁 滝川市からいじめをなくす実効性のある条例の制定について具体的な作業を進めています。心のこもった条例制定に向けて取り組んでまいります。